週刊 愛知民報
2021年 4月11日 第2533号

発行所 愛知民報社
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 FAX(052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料168円 1部 100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）
1966年7月31日第三種郵便物認可

総選挙と一体の政治戦
6月西尾市議選

日本共産党
もとむら、しまづ
両衆院比例候補現地入り

西尾市議
牧野次郎

西尾市議
前田おさむ

6月13日告示、20日投開票で西尾市議選（定数30）がおこなわれます。日本共産党から旧一色町議を合わせて10期目をめざす前田おさむ（現・65）、7期目をめざす牧野次郎（現・63）の2氏が立候補を予定。現有2議席確保をめざします。

この市議選は、今年秋までに必ずある総選挙と一体で、新型コロナ感染拡大から住民の暮らし・福祉を守る政治を実現するたたかいです。共産党市議団は、「ワクチン接種と並行で医療機関や高齢者施設職員へのいっせい検査を定期的実施。困窮対策と事業者支援・雇用の確保」などを市長および県西尾保健所に要望しています。

同党市議団の実績は抜群。高校生を対象にした市独自の給付型奨学金制度を実現。私立高校生の授業料助成も増額しました。小中学生の就学援助の所得制限を緩和させるとともに、保育園の定員増や新生児の聴覚検査助成が実現しました。高齢者配食サービスを改善し利用者は10倍に増加。沿岸部の小学校舎の屋上への手すり設置や津波避難タワー建設も具体化しています。

前田、牧野両氏は、今度の選挙に向けて、防災、公共交通の充実、一色地域の産廃処分場進出反対、国民健康保険税・介護保険料引き下げなど市民生活応援の政策を掲げます。市長がSPC（特定目的会社）への譲歩を繰り返している「西尾方式PFI」には「毅然とした対応」を求めます。

コロナ禍で自粛最中の昨年12月、保守系の「市民クラブ」の議員14人がコンパニオンを呼んで宴会をおこない、市役所に市民から抗議が殺到しました。

一方で同派は共産党以外の各会派と一緒に、介護保険料や下水道料金の値上げ条例に賛成しました。

市議選は共産党議員の地元から多数立候補の動きがあるなど激戦の様相。共産党は総選挙での比例躍進と一体で市議選勝利に全力。3月25日にしまづ幸広前衆院議員が街宣。4月4日の選挙用事務所開設式で、もとむら伸子衆院議員が支持を呼びかけました。

市長選勝利に向け決意表明する（左から2人目）松崎省三候補、もとむら伸子衆院議員・東海比例候補＝4日、愛西市

愛西市長選 11日告示　18日投開票
共産党推薦 無所属 松崎氏全力
もとむら衆院議員演説

11日告示、18日投開票の愛西市長選に、日本共産党の松崎省三尾張南地区委員長が同党推薦・無所属で立候補します。4日同市内で、もとむら伸子衆院議員（東海比例候補）を迎えた街頭演説会がおこなわれました。

市長選は、新型コロナウイルス感染拡大から市民の命と暮らしを守るためのたたかいです。松崎氏は、「地方自治体は国の悪政の〝防波堤〟。しかし、現市政は国いいなり。167億円も積みあがった市の基金を活用して、市独自のPCR等検査の充実、八開立田地区の小中学校統廃合の撤回、値上げされた施設利用料の大幅減免を実現する」と政策を訴えました。

もとむら議員は、75歳以上の医療費窓口負担2割を押し付ける「高齢者医療費2倍法案」、公立・公的病院の再編統合を促進させる「病床削減推進法案」を、今国会で必ず撤回させる決意を表明。比例での共産党支持を呼びかけました。

ユーチューブ動画
「しまづ幸広のこれが言いたい」

視聴はYouTubeの検索窓に

しまづ幸広　これが言いたい　と入力

日本共産党の、しまづ幸広前衆院議員・東海比例候補がネット動画「しまづ幸広のこれが言いたい」を配信しています。3月末に公開された動画のテーマは「カジノ汚職の裁判始まる」です。国民をギャンブル依存症の危険にさらすカジノ法の廃止を強調しています。